

第3回先進的IoTプロジェクト選考会議
IoT Lab Selection

< Finalist に対する NEDO の採択決定 >

第3回先進的IoTプロジェクト選考会議 IoT Lab Selection(3月13日最終審査開催)において、準グランプリを受賞した小林博樹(東京大学空間情報科学研究センター)、審査員特別賞を受賞した合同会社Keychain、ファイナリストのアジア航測株式会社に対して、NEDOによる支援が決定しました。

(NEDOホームページ内: http://www.nedo.go.jp/koubo/IT3_100010.html)

今後、NEDOとの手続きを経て、プロジェクトを実施していくことになります。

準グランプリ

小林博樹
(東京大学空間情報科学研究センター)

人がいないエリアなどにおいて、広域のデータを収集するには多大な労力が必要となり、自動で収集するためにも多くの動力エネルギーが必要となる。東京大学空間情報科学センターにおいて、野生動物のなわばりや習性を利用したセンサー情報収集のための非接触型通信機構を研究。動物同士が近づいた際の威嚇行動などの習性を利用し起動するセンサーにアドホック通信によるネットワーク機構を組み合わせることで、省電力(長時間)で広域のデータを記録情報共有。データの回収においても動物の習性を利用し、非接触通信により給電と記録情報の回収を行うシステム。これにより野生動物装着センサ網による高度な時空間情報ネットワークを実現。家畜の伝染病対策、地雷探知支援など、これまでデータ収集が困難であった、電源・情報・道路インフラが存在しない区域での利活用を目指す。



パンデミックな拡大スピードの実計測を実現する情報基盤



国際支援活動のための情報基盤

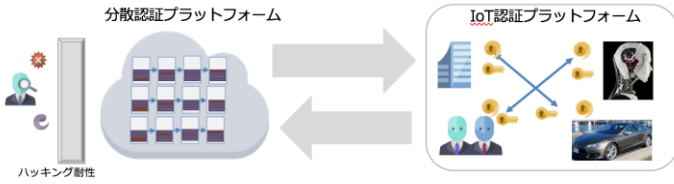
航空管制の空白地帯対応支援



飛行中の機体からの信号受信



合同会社Keychain



爆発的な拡大が見込まれているIoTは、脆弱なデバイスがネットワークに接続することでデバイスを踏み台としたDDOS攻撃など、そのセキュリティが重要な課題となっている。Keychainでは、ブロックチェーン技術を活用した分散認証技術とIoT認証プラットフォームを開発。ブロックチェーン技術により「認証局のハッキング」、「IoTデバイスののっとり」、「認証履歴の改ざん」などのリスクを回避。さらに、従来の電子証明書から大幅にコスト削減。

ファイナリスト

アジア航測株式会社

アジア航測のリアルタイムセンシングシステム、関西大学のスポーツ戦術分析技術、ミズノの運動計測およびウェアラブル技術を融合して、サッカーを中心としたプロスポーツの戦略用システムの開発に挑む。また、関西大学の指導ノウハウとビッグデータ化したナレッジを活かし、アマチュアスポーツの指導サービスを拡充する。さらに、観客へ選手の情報をリアルタイムに提供し、監督や選手の視点を共有することで、観客もスポーツを体感するエンターテインメントへと深化させる。



 **アジア航測株式会社**

 **関西大学**

 **MIZUNO**

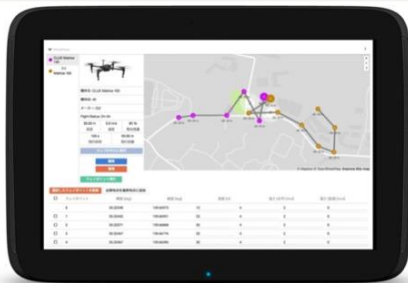


株式会社CLUE

ハードウェア「AeroBase」



クラウド「DroneCloud」



土木測量やインフラ点検などの分野でドローンの活用が進むが、機体メーカーごとにシステム開発をすることが難しいことや、現地に人を派遣して操作をする必要があり、省力化・自動化が十分になされていないことがドローン利用拡大の壁になっている。CLUEでは、これら課題を解決する機体メーカー横断での複数台ドローンの遠隔操作可能な外付けデバイス「AeroBase」を開発。リモートコントロール、リアルタイムデータ収集・加工、航空管制飛行ログ提供などが可能なデバイスは世界初。国内でも先駆けて4G・LTEを活用したドローン自動運転ソリューションに挑む。

THE パワーグリッドソリューション 株式会社

「日本のシステムツール、運用技術、その運営を修得する現地教育」のパッケージをインドの配電会社向けキャパシティビルディングシステムとして輸出。この実績に、IoTを活用した配電設備情報を収集するシステムを加えることで、経済成長を続ける新興国の課題である「停電の頻発」「電力ロスと設備故障の増大」「系統安定化」の解決に向けてプロジェクト展開する。さらに、系統運用技術にAIを活用することで普通の人でもエキスパートと同等の仕事をして、エキスパートはさらにその力を伸ばすことのできる支援基盤を作る。

